

## 29 立山ジョイ・フレンド2

～グループの協力で取り組む課題解決ゲーム～

**要：事前体験**

<b>主なねらい</b> ◎友とのきずなを強める ◎グループで協力する ◎グループ意識を高める ○個の活躍と承認のチャンス	適 期	4月～11月
	所要時間	半日～ (時間を決めて実施も可能)
	対 象	小学校中学年～

「立山ジョイ・フレンド」は、ゲームをクリアすることが主目的ではなく、クリアするための話し合い、振り返る活動を繰り返すことで、コミュニケーション能力や協力性などを高めることが目的です。

<基本的な流れ>

- ①各ゲーム前の作戦会議
- ②途中やうまくいかないときの意見交換
- ③各ゲーム終了後の振り返り

「立山ジョイ・フレンド2」は、自然の中で、他の人と協力しなければ解決できないゲームにチャレンジする活動です。設定時間の中でいくつかのゲームを選択して実施します。この活動を通して、「コミュニケーション力の向上」や「信頼関係の向上」、「自己の自信を深める」などといった効果が期待できます。

※活動の内容は、集団の実態・人数、指導者の人数によって変わってきます。実施される場合は、当所職員（企画指導専門職）と相談するとともに、事前に指導者の研修が必要です。  
※活動によっては危険を伴うものがあります。集団の実態や安全を管理する指導者の人数等を十分に考慮し、ゲームを選択・実施してください。ゲーム中は、安全面の指導、配慮を十分に行ってください。

### 1 始める前の約束の確認

まず、活動を始める前に研修（宿泊学習）のねらいを確認し、ジョイ・フレンド2のねらいと参加者にもたらすものを伝え、取り組む上での約束確認を行います。

- ・感じたことを正直に伝え合うこと
- ・前向きに取り組むこと
- ・お互いに尊重し大切にすること（失敗を笑わない・バカにしない・困った時は助け合う）
- ・安全に行うこと
- ・自分で決めて挑戦すること
- ・目標に向かって努力すること

### 2 評価について

振り返りを大切にします。活動やそこで得た体験を振り返りながら、いろいろなことに対する気づきを深めていきます。自分は大切にされていたか、仲間は大切にされていたかなど、約束について、自由に話します。できれば、気づきを深める支援者がいることが理想的です。

### 3 指導者の留意点

- ・いくつかのゲームを選択し、実施する際は、ゲームの難易度を徐々に上げていったり参加者の接触が多くなるようにしたりするようにします。
- ・ヒントを与えすぎない（与えすぎること、グループのコミュニケーションが高まらなくなる恐れがあります）。
- ・ゲームのルールをしっかりと伝える（ゲーム中に「それはやってはダメ」と言うと、参加者の意欲が削がれてしまいます）。
- ・ふざけないように促しましょう。

学校・団体の担当者が各ゲームを指導することになります。担当者は、ゲーム内容を十分に把握した上で実施してください。指導方法が分からない場合は、職員にお尋ねください。事前に担当者の方に説明します。